

長休寺スカウト

4団・38団
合同会報

創刊号
昭和52年1月1日発行

長休寺スカウト協議会

スカウティングの道

あるけ あるけ ふみまよえる道も
道を求めて 坂道もよい いつしか 歩むべき道を
ひら道もよい 道なき道も 見出す 一歩一本を
一歩一本 あるきつづける 味いつつ スカウトはあるく

小川 玄 諦



カブスカウト隊のお餅つき 昭和51年12月19日

長久寺スカウト協議会 発足にあたり

長休寺スカウト協議会事務局

西村 泰一

三指 日頃皆様には何かとスカウト活動にご協力を賜り誠に有難うございます。さて長休寺スカウト協議会について御存知とは思いますが簡単にお話し致します。

以前は広場は今日の様にスカウト活動の場でしたか、各種会合はすべて小川先生宅で催

されて居りました。処が今から約五年前にありますスカウトの父兄（ライオンズ、クラブ）がハウスを寄贈された事から、これの管理維持の為にハウス協議会が生れました。小川先生を中心多くの方々のご協力で今日まで立派に運営されて参りました。

処で大谷派スカウトの長休寺に団本部を置く4団、38団のスカウトを称して長休寺スカウトと呼んでおります。このスカウト活動を円滑に運営する機関として從来のハウス協議会が更に一步前進して長休寺スカウト協議会が発足しました。これに参加するのは本来両育成会全員ですが、それでは大変ですので、小川先生を中心に各団委員会の方で協議会（年二回程度）を構成し、更に協議会内で運営委員会（各団4名づつ、隔月）を持って、会計、事務局を置き、長休寺スカウトの年中行事（報恩講、新年の集い）のプログラム作成と実施、ハウスと広場の管理維持、カブスカウトの入隊問題、各隊キャンプ日程の調整、名簿の作成、機関紙発行、親睦行事実施等を運営して行くことになります。

何分新規発足でございますので、皆様の一層の御力添を得まして、長休寺スカウト活動発展の為に、奉仕、協力を致したいと思つております。よろしくお願ひ申し上げます。

皆様にお知らせとして三年以前より38団ボーリー隊育成会のお母さん方で月一回、オシャベリ会かたがた清掃奉仕をされております。頑張って下さい。有難うございます。弥栄

手も十分にわざがみがけるように協力し、自分もわざをみがくのです。しかし、受験があまりにも重視されるため、熟通いが生活の重要な部分をしめ、自分だけよければとい風潮になっています。それは大変危険なことです。人間は互いに助け合わなければ生活できないのです。そのため、隊としてはスカウト精神に書かれている、豊かな社会人を育てる責務があります。という事で、今年度は、特に基本動作の訓練を重視し、それを三点程にしました。それは、服装きちんと身につける。ハイ・イイエをはつきりいう。自分のことは自分でする努力です。一方、自然の中で活動を十分したいと思います。人間は、地球上の動物の一員です。動物園にいるのと、野性との違いはどうでしょう。すぐわかると思います。野性の方が生活力も旺盛だからです。ペーデン・パウエルの言葉に、カヌーは自分でこげというのがあります。大人が変に手を貸すのではなく、スカウトと一緒に進みたいと思いますし、活動のマンネリ化をさせぐために、プログラム面でのご協力を育成会の皆様にお願いすることになると思います。

ハウス長休の生いたち……

長休寺スカウト協議会

昭和47年10月22日、北ライオンズクラブの好意により、長休寺のスカウト諸君へ……と

小川 玄 諦

手も十分にわざがみがけるように協力し、自分もわざをみがくのです。しかし、受験があまりにも重視されるため、熟通いが生活の重要な部分をしめ、自分だけよければとい風潮になっています。それは大変危険なことです。人間は互いに助け合わなければ生活できないのです。そのため、隊としてはスカウト精神に書かれている、豊かな社会人を育てる責務があります。という事で、今年度は、特に基本動作の訓練を重視し、それを三点程にしました。それは、服装きちんと身につける。ハイ・イイエをはつきりいう。自分のことは自分でする努力です。一方、自然の中で活動を十分したいと思います。人間は、地球上の動物の一員です。動物園にいるのと、野性との違いはどうでしょう。すぐわかると思います。野性の方が生活力も旺盛だからです。ペーデン・パウエルの言葉に、カヌーは自分でこげというのがあります。大人が変に手を貸すのではなく、スカウトと一緒に進みたいと思いますし、活動のマンネリ化をさせぐために、プログラム面でのご協力を育成会の皆様にお願いすることになると思います。

ハウス長休の生いたち……

長休寺スカウト協議会

昭和47年10月22日、北ライオンズクラブの好意により、長休寺のスカウト諸君へ……と

小川 玄 諦

ハウスが寄贈されました。以後4団、38団のスカウト達の本部として利用されています。その間、便所、側溝、ガレージ用屋根、自転車置場、水道設備等々がご父兄のご協力により、整備され今日の姿になっています。本会報の冒頭に、小川先生がお書き頂いておりましたが、私達父兄も又このハウス長休の維持、管理について考えなくてはなりません。ご存知の通り、この広場は小川先生のご好意により私達が利用させて頂いています。スカウトの標語にも「来た時よりも美しく」とあります。スカウト達が、父兄が感謝の気持ちでこのハウスを利用したいものです。ハウスの広場には、奥さまの丹精こめてお育ての四季の花々も咲き、スカウト達の美しい心がぐぐまれていくようです。大切にしたいものです。

ハウスが寄贈されました。以後4団、38団のスカウト達の本部として利用されています。その間、便所、側溝、ガレージ用屋根、自転車置場、水道設備等々がご父兄のご協力により、整備され今日の姿になっています。本会報の冒頭に、小川先生がお書き頂いておりましたが、私達父兄も又このハウス長休の維持、管理について考えなくてはなりません。ご存知の通り、この広場は小川先生のご好意により私達が利用させて頂いています。スカウトの標語にも「来た時よりも美しく」とあります。スカウト達が、父兄が感謝の気持ちでこのハウスを利用したいものです。ハウスの広場には、奥さまの丹精こめてお育ての四季の花々も咲き、スカウト達の美しい心がぐぐまれていくようです。大切にしたいものです。

【受付及び選考】
4月1日よりカブ隊隊長が所定の仮入隊願書を受け、定員に達し次第締切る。

選考は4団、38団各ボーリー隊との地区その他関係もあり、最終的に入隊者は、協議会運営委員会で決定する。

【その他確認事項】
「カブ隊の定員は36名が理想」とし、今後はその方向で努力すること。

尚、仮入隊願書は、長休寺スカウト協議会事務局までご請求下さい。以上

ご存知の通り、例年カブ隊への入隊希望者は多く、入隊に際して不備な点もありましたので、本年度は入隊要項を左記の通り決定致しましたのでお知らせします。

【募集人員】原則として12名（小学校二年生に限る）

長休寺スカウト協議会事務局

西村 泰一

ご存知の通り、例年カブ隊への入隊希望者は多く、入隊に際して不備な点もありましたので、本年度は入隊要項を左記の通り決定致しましたのでお知らせします。

【募集人員】原則として12名（小学校二年生に限る）

長休寺スカウト協議会事務局

西村 泰一

「長休寺スカウト」
発行について

（佐藤・園田）

「長休寺スカウト」
発行について

（佐藤・園田）

年 の 始 め に

長休寺スカウト協議会

会長 小川 玄 謹

年々迎える正月の儀礼、本当にさゝやかながらスカウトの手によって執り行はれて来た。正月の慣習として「おめでとう」のやりとりの互礼としての一面しか受取らない人もあるかも知れないが、心からおめでとうと言える心新な思いで迎えられる正月のスカウト儀礼であるし、その意味で新らしい年を迎える感を深くする集いである。

新年だからおめでたいとは一寸そのままでは受け取り難いけれども、慣習として受け継がれて来た時そんな事が言えるのだろうがスカウトにとっては、やはり新玉の年の始めの意あつての正月儀礼であろうと思う。

本来は大晦日の夜を通して祖先を迎えるためおもりが晦日行事であり、お祭りであつた。新玉、即ち魂を迎えてともに新年を迎える。新玉に願いを新にしての意義を持つお互いそれを祝い合う形で統けられて来た正月の儀礼である。その意味からして、心から「おめでとう」と祝い合えるうれしい行事である。やはりこうしたスカウト行事はスカウト自身の手で行はれる。それがたとえまづくとも、純な素直な儀礼でありたいと思う。

X X X X X

何事でも一人では何も出来ないので、御尽力、御奉仕の下に成り立っている。特にスカウト活動にあつては、これ無くしては成り立たないと言つて過言ではない。それだけに、一番、考えたい事は、めぐまれた集会所である事に関連して：掃除もお母様方の御奉仕破損も協議会がしてくれる。スカウトにあつては無意識的だと思はれるがあまりにも育成会に寄り掛り過ぎてはいないだろうか。少年達の手で修理可能なものでも、整理にしてもいつまでも、いつまでも放置されていることは、一体どうなのだろうか。

早く言えば、スカウト指導の教材が目の前に提示されているにも関わらず、それを見のがして仕舞つてある事に申訳ない事だったと思う。それを通してのすばらしい教材を生かしえずには仕舞つた事は何とも申沢ない。

一つの集会所を通しての適応性と言うか、その欠如を痛感させられた。単に少年達の集

分一人の力では何も出来ないが、協力の下に成り立つ。“協同社会”協同体世界に於て可能であることであるとすれば、スカウトが主体的に、訓育活動の為の協同体の場としてのハウスの意義を更に高めて行きたいし、この認識が大切なのはあるまいか。育成会の在り方もこの認識の上に立つての協力援助でなければならぬし、スカウトにあつてのこの認識の下に指導されねば、不平不満を並べたり批判者の立場に立つ、自活力の少ない人間形成を育成する誤りにも落ち入りかねないと思う。

新年早々お詫びやら、本年度の在り方の一端を述べ御挨拶と致します。本年もよろしくお願ひ致します。

「新年にあたり」

4 団育成会
会長 原田彦和

近頃老若世代の断絶が云われます。年寄りが集ると「この頃の若い者はどうも……」と言ふ。若い人は「時代が變つてゐるのに何を今頃昔の事を……」とやり返します。

両方共一度反省しては如何でしょうか。新しい教育をうけ新しい知識を身につけた人から見れば昔の事は理解出来難い事が多いと思ふ。

然し昔の人も勉強し困難に耐え長い経験により体得した貴重な知識を身につけてゐます。その言を聞く事も無駄な事ではないでしよう。反面若い人達もそれなりに努力している事を評価すべきだと思います。今でも若い人の中には「昔の人は年頃になれば軍隊で鍛えられた。私達にも若い時に身心を鍛える場が必要だと思います」と言ってスポーツクラブで苦しい練習に耐えている人もいます。

私達親である者も心を開いて若い人と接触し彼等を理解すると共に自分達の貴重な経験によつて得た知識を次の時代を背負う若い人に伝へる事により健全な社会の発展に貢献して行きたいものです。

今年度から長休寺スカウト協議会が発足し4団、38団の共通行事や活動が持たれる様になりました。この協議会はスカウト活動の更に向上する事を目標としています。

スカウト諸君は各自で心と技を磨きその集合体である長休寺スカウトの名を国内だけでなく世界にも広める様に頑張ってほしいと願っています。

明けましておめでとう御座居ます。今年もスカウト達がより充実した活動が出来る様育成会の皆様の積極的な御協力をお願ひ致します。

先日カブスカウトからボーリスカウトへ上進する人達の誓ひの式に参列しましたが帰つて自分の息子の姿を見てよくもこんなに成長したものだと感にうたれました。

近頃老若世代の断絶が云われます。年寄りが集ると「この頃の若い者はどうも……」と言ふ。若い人は「時代が變つてゐるのに何を今頃昔の事を……」とやり返します。

両方共一度反省しては如何でしょうか。新しい教育をうけ新しい知識を身につけた人から見れば昔の事は理解出来難い事が多いと思ふ。

然し昔の人も勉強し困難に耐え長い経験により体得した貴重な知識を身につけてゐます。その言を聞く事も無駄な事ではないでしよう。反面若い人達もそれなりに努力している事を評価すべきだと思います。今でも若い人の中には「昔の人は年頃になれば軍隊で鍛えられた。私達にも若い時に身心を鍛える場が必要だと思います」と言ってスポーツクラブで苦しい練習に耐えている人もいます。

私達親である者も心を開いて若い人と接触し彼等を理解すると共に自分達の貴重な経験によつて得た知識を次の時代を背負う若い人に伝へる事により健全な社会の発展に貢献して行きたいものです。

今年度から長休寺スカウト協議会が発足し4団、38団の共通行事や活動が持たれる様になりました。この協議会はスカウト活動の更に向上する事を目標としています。

スカウト諸君は各自で心と技を磨きその集合体である長休寺スカウトの名を国内だけでなく世界にも広める様に頑張ってほしいと願っています。

カブの育成会の総会の案内状（ハガキ）を持って長休寺に行つたのは初冬の一夜のことでした。座敷の方へ案内（矢印）されて室内に入ると私達の紹介者で同じ町内の宮西さん（中川さん此処へどうぞ）と話はれて坐つた場所が小川先生の隣の席の宮西さんの横、私は入隊説明会に出席していなかつたので、小川先生を初め皆さん方（当時の育成会員）とは初対面でスカウトの話も初めてでした。小川先生の司会（進行）で総会が開かれた。そして宮西さんの「皆さん、実は小川先生にこの様なことまでして頂いては先生が大変ですので我々育成会で何かとお手伝いしたいと思いますので宣教くお願いします」との発言で役職の選出になつた。委員長に宮西さん会計に北尾さん（以上は留任）そしていつの間にか委員長の隣の席に坐つた私が副委員長と云うことに決つてしまつた。初めて出席し

私が育成会員になつた
(入れてもらつた) 時
38 团育成会
会長 中川恵造

会のためのハウス提供であるならば、スカウトに取つては全く意義がないと言つて過言では無い様である。こうした意味とは少しは違するが、アメリカの関係書にも記載されてゐた事を思い出す。ハウスは、その根源的なとスカウトの相互の信頼も深く、集会もすばらしいと思う。私達の教である相互敬愛と相互通養ということにつきると思う。供養とは、布施の行であり、スカウト用語にすれば奉仕である。そのお蔭での充実感を皆々様のお蔭で味はさせていたゞけた年であつた。

何事でも一人では何も出来ないので、御尽力、御奉仕の下に成り立つては成り立たないと言つて過言では無い。それだけに、一番、考えたい事は、めぐまれた集会所である事に關連して：掃除もお母様方の御奉仕破損も協議会がしてくれる。スカウトにあつては無意識的だと思はれるがあまりにも育成会に寄り掛り過ぎてはいないだろうか。少年達の手で修理可能なものでも、整理にしてもいつまでも、いつまでも放置されていることは、一体どうなのだろうか。

早く言えば、スカウト指導の教材が目の前に提示されているにも関わらず、それを見のがして仕舞つてある事に申訳ない事だったと思う。それを通してのすばらしい教材を生かしえずには仕舞つた事は何とも申沢ない。

一つの集会所を通しての適応性と言うか、その欠如を痛感させられた。単に少年達の集

た会合で何んと云うことだらう。何にも知らない私に

実はその時以来育成会員として、今まで何にかの役をさせてもらった。お蔭で色々勉強することがあつて現在も続けています。

“いやさか”

カブ隊二年間を振り返って

4団・育成会員
伊藤武郎

昭和48年9月に息子が、カブ隊に入隊しました早くも三年が経過し、昨年9月にカブスカウトの課程を修了し、ボイスカウト4団に上進致しました。その間、隊集会等を通じて子供達と行動を共にする機会が多くあり、彼等の成長を嬉しく拝見致してまいりました。ある時はハウス長休でお餅をつき、厳寒の雪中ハイクでは、膝まである雪の中をスカウト達と一緒に歩きました。またある時は山野を駆け巡り、絵を描き、工作なども共にして来ました。家庭の親と子の間ではこの様な経験を持つことは大変難しい事で、この二年間貴重な時を過ごさせて頂いた事を父親として感謝しております。スカウト達にとって、楽しかった、苦しかったあの日、あの時、澄みきった夜空に星くずが降ってくる様な下で、營火を囲み、歌を謳い、スタンツを楽しみ、

色、種をまいた草花はどうなつてゐるだろう夏の營當では鮮烈な襦袢とひざわたら雷鳴の中でのデンづくり、一休さんの研究発表の声もかき消える程の雷、でもたれもこわがる子供のいなかつたのはさすが、滝うたれではデンマザー退場を命ぜられる一コマもあり、未経験のかつこうで大はしゃぎ、河原での飯盒炊さんでは慣れぬ手つきで材料の皮をむいて切るのに一苦労、やつと出来上つて口を揃えて云うことは「こんなおいしいカレー食べたことない!」。いよいよクライマックスの大嘗火一生懸命練習したのにセリフを忘れ煙で咽を痛めて声が出なかつたりとんだ番狂わせ、でもそんなことよりも大自然の中で大勢が一つの輪となり身も心も溶け合わせた、あとのすばらしい雰囲気こそ物にもかえがたい体験だと思えるのです。このよう貴重な経験をとおして一つ一つの苦難をのりこえる勇気、又苦難の後には必ず道が開けることを知るでしおう。最後のセレモニーでは拭いても拭いても流れ出る涙……この一年間何も出来なかつたけれど一人の母親としてどの子供が大嘗火一生懸命練習したのにセリフを忘れ煙で咽を痛めて声が出なかつたりとんだ番狂わせ、でもそんなことよりも大自然の中で大勢が一つの輪となり身も心も溶け合わせた、あとの一年間お役目を果せましたことを厚くお礼申し上げます。スカウト達がその活動をとおして会得したものがあの柔らかな、純な心につづつしみこませ若竹のように、すくすく育ってくれることを祈りつゝ

親子共々お互いに肩を組み合つて「ひと日の終り」をハミングして、その感概を頷ち合つた事も昨日の様に思われます。カブ隊の仮入隊時は、マドロシさがあり、お兄さんスカウトについて行けるかどうかと心配致しましたが、シカ、クマと進級し、上進する時点では、

得がたい経験
(デンマザーの一年間)
38団カブ隊50年度デンマザー 前田文子

38団カブ隊51年度デンマザー

カブスカウトと共に

38団カブ隊51年度デンマザー

秋田明子

明けましてお目出とうございます。新しい年を迎えた立派な若者に成長して欲しいと思うのであります。おわりに38団、4団のリーダー、育成会の皆様方のご健祥ご多幸を祈り、良き年であります様念しております。

親子共々お互いに肩を組み合つて「ひと日の終り」をハミングして、その感概を頷ち合つた事も昨日の様に思われます。カブ隊の仮入隊時は、マドロシさがあり、お兄さんスカウトについて行けるかどうかと心配致しましたが、シカ、クマと進級し、上進する時点では、

秋から冬にかけての京の空は、気まぐれである。暖かな日さしにうれしくなつて物干しがいっぱい広げると、ナマリ色の雲が足早やにくなつた彼等の姿を見て非常に心強く感じました。この様な子供達の成長の陰にリーダーの皆様、デンマーの皆様のご苦労を忘れる事が出来ません。子供達の良き指導者として、公私を捨てご奉仕下さっている皆様のご努力に只々頭が下る思いが致します。小学校での詰め込み教育が批判されている昨今、カブスカウト活動は子供達が長い人生を歩む一時にすぎませんが、「心」、「技」、「体」の三點をしっかりと取得し、「約束とさだめ」を身につけ、子供は子供なりに、自己の将来を見極めて真実一路、善意の行動がとれる様にすぎませんが、「心」、「技」、「体」の三點をしっかりと取得し、「約束とさだめ」を身につけ、子供は子供なりに、自己の将来を見極めて真実一路、善意の行動がとれる様にすぎませんが、「心」、「技」、「体」の三點をしっかりと取得し、「約束とさだめ」を身につけ、子供は子供なりに、自己の将来を見極めて真実一路、善意の行動がとれる様にすぎませんが、「心」、「技」、「体」の三點をしっかりと取得し、「約束とさだめ」を身につけ、子供は子供なりに、自己の将来を見極めて真実一路、善意の行動がとれる様にすぎませんが、「心」、「技」、「体」の三點をしっかりと取得し、「約束とさだめ」を身につけ、子供は子供なりに、自己の将来を見極めて真実一路、善意の行動がとれる様にすぎませんが、「心」、「技」、「体」の三點をしっかりと取得し、「約束とさだめ」を身につけ、子供は子供なりに、自己の将来を見極めて真実一路、善意の行動がとれる様にすぎませんが、「心」、「技」、「体」の三點をしっかりと取得し、「約束とさだめ」を身につけ、子供は子供なりに、自己の将来を見極めて真実一路、善意の行動がとれる様に

組長になつて

38団カブスカウト4組

一沢憲

ほくは、はじめて、組長にえらばれたときのスカウトが後輩のこわれた樂器を直す姿、組長の指示に従つて子供なりに行動する姿をみて、学校の友達同志ではとても体験出来ない貴重な経験だと、息子をカブ隊に入れて頂いた事を感謝しております。少々、体力の衰弱を感じる私ですが、今年は年令の事を忘れずと幸せで恵まれた子供達でしょう。もつとも少しある間に頭をつっこんでみて、リーダーの方々のご苦労がいかに大変か、又大なる縁の下の力持的存在的な方々のお陰でスカウト達が楽しく活動出来るか、あらためてわかりました。お忙しい中、寸暇を惜んでの無理の奉仕、又このような大勢の方々に見まもなくつてくれればと思う気持ちは親の欲目でしたようか。ボイスカウトに上進しても、スカウトの道を踏み外す事なく、正義感に満ち溢れて立派な若者に成長して欲しいと思うのです。おわりに38団、4団のリーダー、育成会の皆様方のご健祥ご多幸を祈り、良き年であります様念しております。

秋から冬にかけての京の空は、気まぐれである。暖かな日さしにうれしくなつて物干しがいっぱい広げると、ナマリ色の雲が足早やにくなつた彼等の姿を見て非常に心強く感じました。この様な子供達の成長の陰にリーダーの皆様、デンマーの皆様のご苦労を忘れる事が出来ません。子供達の良き指導者として、公私を捨てご奉仕下さっている皆様のご努力に只々頭が下る思いが致します。小学校での詰め込み教育が批判されている昨今、カブスカウト活動は子供達が長い人生を歩む一時にすぎませんが、「心」、「技」、「体」の三點をしっかりと取得し、「約束とさだめ」を身につけ、子供は子供なりに、自己の将来を見極めて真実一路、善意の行動がとれる様にすぎませんが、「心」、「技」、「体」の三點をしっかりと取得し、「約束とさだめ」を身につけ、子供は子供なりに、自己の将来を見極めて真実一路、善意の行動がとれる様にすぎませんが、「心」、「技」、「体」の三點をしっかりと取得し、「約束とさだめ」を身につけ、子供は子供なりに、自己の将来を見極めて真実一路、善意の行動がとれる様にすぎませんが、「心」、「技」、「体」の三點をしっかりと取得し、「約束とさだめ」を身につけ、子供は子供なりに、自己の将来を見極めて真実一路、善意の行動がとれる様に

スカウトに・ご父兄に

各隊リーダーの抱負

後輩達への足跡となれ！

38団シニアースカウト隊

副長 榎本信也

この間、おめでとうを交わしたと思つたのに、もう年末のあわただしさの中に入つてしまい時の流れの早さをつくづく感じます。この一年間を振りかえつてみて、活動したことの反省や評価を一つ一つ記していくば、それなりの結論も出て、新しい年へむけての方も向づけも出来てくると思いますが、ここでは、あえて記さずにおきます。

シニアスカウトとして、長休スカウト大会を主催し、地区シニアアラリーに上位入賞を果たし、夏期遠征も各自の計画と足によつて体験し、それなりの成果と経験がそこにあつたと思うのです。シニア隊諸君も物事に対しても、振り返つてみると、全員が出席した隊は、あえて記さずにおきます。

新しい年を迎えるにあたり、我々リーダー自身も、新しい物を求め、挑戦してみたい気持ちでいっぱいです。同時に、我サンバチ、シニア隊諸君も物事に対しても、思い切つてやっていってもらいたいと思うのです。

各人の成長とともに、より良いチームワーク作り、隊作りを目標に、あとからくる後輩達への足跡となるよう、新しい年への希望を

持ちたいと思うのです。

「両立させる」ことの必要性

4団ボーイズカウト隊

隊長 西川貞正

早いもので私が隊長になつてから4ヶ月が過ぎようとしています。この間、いろいろ訓練を行ない、又、行事にも参加しましたけれども、振り返つてみると、全員が出席した隊集会が一度もないのです。ここ数年、熟、クラブとスカウティングの両立ということが地区においても何回となく話題になりましたが、四団は出席率のよいということには定評がありました。もちろん、班集会等も含んだ、全体的な出席率は、以前と大差はないのですが理由はいろいろあるようですが、特にクラブと云うのが多いようです。もちろんクラブも大切ですし、熟へ行くのも大切でしょう。しかしここで考えてほしいのは、クラブ、熟とスカウティングの両立と云うことは実行するため大切な心構えは「そなえよつねに」と教えています。そのためには目標に向つて計画を立てることです。そして、単位であり「いつも油断しておらない」日常生活に常に備えること、役立つことあります。

古人は、人生に目標をもち、その目標に挑戦して足跡の反省と進歩のため「一年の計は元旦にあり」と教えています。そのためには目標に向つて計画を立てることです。そして、単位であり「いつも油断しておらない」日常生活に常に備えること、役立つことあります。

新年にあたり、これらのことふまえ、私はもう一度ちかい、おきて、を心に確かめて、スカウティングに今以上に励んでいきたいと思います。そして、これから的一日、一日を大切に、「あしたの前の日の今日」を有意義に、自分のベストをつくして目標に向つていきたいです。

ですから、私は、一つの事だけでなく、いろいろな事をこなすようになつてもらいたいと

思うのです。

毎年々々、両立することの困難から、やめてゆくスカウトがいますが、やる気があれば出来るはずです。多くの先輩達が、その困難を乗り越えてやつてきたのです。みんなに出来るはずです。逃げないで、何事にでも向かって行くよりな心をもつて進んでもらいたいと思います。

4団ボーイズカウト

山本修

初級スカウトになつて

38団カブスカウト隊

(完)

ぼくは、ボーイに入隊した時、なんとか、早く初級スカウトになりたいと思い、いつしかけんめい、結さくや、ちかいときだめなどを練習した。今まで、こんなにいつしょくけんめいやりたのは始めてのよう、思う。ようやく、全部合格した時は、今でもわすれられないほどうれしかつた。そして、入隊式があつた。制服を着て、これで、せいしきの、スカウトになれ、め上の人と同じ行動が、出来るようになつたことが、とてもうれしかつた。でもぼくは、集合時間をまちがえたり、電話れんらくをまちがえたり、どじばかりやつている。だから、これからは、がんばらなかんと思つてゐる。

また、菊スカウトなどを、目標にして、がんばりたい。

あしたの前の日の今日

4団ボーイズカウト隊

隊長 鶴田茂一

新しい年を向えるにあたり私自身この一年をふり返りますと、元旦から一年間といいままで実際に長いよう感じますが、今年もあと少しで終わろうとしている今、これを書くにあたつて思いますと、一年間とはなんと短かく、早いものだと感じました。メモを見ながらこの一年間、ボーキ活動に関した日数をかぞえてみました。そしたら一五四日という日数でした。しかし、今思うところ日々は私にとって、実に有意義なものでした。確かに苦しい時、一人悩んだ日もありました。が、スカウト達と楽しく活動を共にしたこと、又小川先生はじめ先輩諸氏、団りの人達のあたたかい励ましにより、それを乗り越えることができました。この過ぎ去った日々は、二度ともどつてはきません。しかし、この間にたくさんの体験をして、「力づけてもらいたい」と力づけてもらいました。しかしながら、「若者の特權」それはやり直しのできることだ。失敗を恐れず多く体験をして、「力づけてもらいたい」と思っています。

私は、若年ということで、何かいつも不安でした。しかし、ある方から「若者の特權」を理解することができました。それはやり直しのできることだ。失敗を恐れずよくしていっては、「だめなんだな」ということでいつも自分に言ひ聞かれていた

初級スカウトになつて

38団ボーイズカウト

小林泰之

見習いスカウトの時ぼくは早く初級になりました。初級になると、ほんとに制服はきれし、ほんとうのボーイズカウトになつたみたいだから、早く初級になりました。それに、いつまでも見習いスカウト章をつけていると、はずかしいからだ。ぼくは、初級スカウトになつて、これからもきびしいことが、いつぱいあるが、きびしくなつた。それに、いつまでも見習いスカウト章をつけていると、はずかしいからだ。黒官君も山川君にもきっと、初級スカウトはものすごくきびしく、しごかれるぞと思つて、

私の抱負

38団カブスカウト隊

隊長 服部圭佐

子供は、本来個性を生かしてたくましく成長するものです。時代の背景はどうあれ、それぞれに能力を秘めながら、未来に進んでいくのです。ただ単純に、我々の少年時代と比較するには危険なことです。現実地域社会での子供の位置はどうでしょう。歩かなくて便利な交通用具があり、遊び方を知らないでも、説明どうりにすれば簡単に遊べるゲームがあり、本を読んだり、ラジオを聞いて場面を想像しなくても、テレビで場面が表われます。だから、自分達で遊びを考えたす能力もなくなり、物が豊富にあるため、何でも手に入れることができます。だから、テレビで場面が表われます。だから、自分達で遊びを考えたす能力も少なくなり、物が豊富にあるため、何でも手に入れることができます。そのため、その苦労をさせたくないとの涙ぐましい努力をしています。その一つが受験戦争ではないでしょうか、人生を力強く生きるために競走は大切です。競走することは、決して相手をけ落して勝つことではない筈です。相